

嶋村誠教授記念号の発行に際して

嶋村誠教授は、2017年3月31日をもって関西学院大学を定年によりご退職されることとなりました。嶋村教授は、1981年4月に関西学院大学商学部就任され、爾来36年の間、商学部の英語教育に多大な貢献をされてこられました。

嶋村誠教授は、1971年3月に大阪外国語大学外国語学部I部英語学科を卒業後、大阪外国語大学大学院外国語学研究科英語学専攻修士課程を修了されました。その後、神戸学院大学専任助手、専任講師を経て、1981年4月より関西学院大学商学部専任講師として就任されました。商学部では、助教授・准教授を経て、2014年4月より教授になられ、英語を中心とする講義を担当されました。また、大学院言語コミュニケーション文化研究科では、言語科学特殊講義などの講義を担当されるとともに、前期課程指導教員、後期課程指導教員となりました。行政では、1987年4月に商学部学生副主任（2年間）、1999年4月には関西学院大学言語教育研究センター副長（2年間）をお勤めになりました。さらに、宗教活動委員会の活動にも尽力され、キリスト者として商学部および大学の発展を支えてこられました。私たち後輩は先生のお人柄を慕うとともに、さまざまな形でお力添えを頂きましたことに深く感謝申し上げます。

嶋村誠教授のご専門は、英語学であり、英語と日本語を対象とした比較対照研究を進めてこられました。ひとがことばで表現すると

きにその対象となる状況をどのようにとらえているのかという観点から、認知論にもとづいて両言語を比較・分析する作業に取り組んでこられ、その作業を通して、母語話者の言語使用にしかみられない英語らしさ・日本語らしさなど両言語の個別特性を抽出する研究を進めてこられました。数多くの研究論文、分担執筆書、共編訳書とともに、2014年に単著『日英語に見るもののとらえ方』を出版されました。また、嶋村誠教授は、英語、日本語、認知科学、言語に関連する多くの学会に所属され、関西言語学会では編集委員や大会実行委員を歴任されてこられました。

嶋村誠教授のご退職にあたり、商学部の教育、研究、行政に対する多大のご貢献に衷心より感謝の意を表し、ここに『商学論究』の記念号を刊行できますことは大きな喜びであります。最後になりましたが、この記念号にご執筆いただいた先生方、ならびに編集に携わっていただいた先生方に厚く御礼を申し上げます。

2017年3月

商学部長 井上達男